沼田町化石館だより

2022 年 12 月 132 号
この化石館だよりのカラー版は、化石館のホームページと、沼田町教育委員会のブログからご覧いただけます。

収蔵庫が移転します

沼田町化石館では 3000 点以上の化石や骨格標本、レプリカ母型を管理しています。大小さまざまな資料たちは町中の旧沼田町化石館や旧ふるさと資料館にて保存していますが、施設の老朽化や年々増えていく新たな収蔵物を保管するためのより広いスペース確保のため、新たな施設への移転に向けて現在作業を行っています。

収蔵庫では、大まかに２つの作業を行っております。ひとつは、人間がひとりで持てるサイズの資料の移動のために、台帳にまとめられている資料目録と実物化石とを一点ずつ照らし合わせて標本の有無や破損状態を調べています。収蔵庫に無い資料は、化石体験館での展示に使用していたり、他の機関に貸し出している標本もあるため、どの資料がどこにあるのかを明らかにします。また、今回新たな取り組みとして、標本を活用しやすくするために、主要な資料について、写真のようなデジタルデータを取得しています。

◀ 台帳の化石を一点ずつ確認している様子。収蔵庫の整理時には、2015 年、2016 年に「再発見」されたヌマタネズミイルカの標本のように、新たな発見に出会うことがあります。今回の収蔵庫の整理時にはどのような発見があるのでしょうか。

もうひとつは、全身骨格レプリカのような大型資料を運ぶために、運搬台を製作したり、緩衝材などで梱包し、軽トラを用いて資料を実際に移動しています。ホッキョクグマのようななじみのある現生ほ乳類の骨格も運搬しており、運がよければ町中で軽トラに乗った骨格を見ることができるかもしれません。

◀ 骨格標本のような大型資料は軽トラで運搬しています。資料が壊れないようゆっくり運転しているので、町内で遭遇した際には遠慮なく追い越してください。

収蔵庫の重要性～時間を保存する～

博物館の役割として、資料を展示して一般の方々に紹介する社会教育的な面を連想する方が多いですが、実はもっと重要なのは「時間を後世に残す」役割を担っていることだと考えています。

沼田町化石館では、町内ではじめてクジラの化石が見つかった 1980 年から、約 40 年の時間をかけてコツコツと資料を収集してきた結果、3000 点以上の標本を所蔵するに至っています。このように大量の資料を数年で収集するのは不可能に近いですし、くわえて、ホッキョクグマのような他機関との関わりのおかげで収集できた貴重な標本も多数あります。さらに、ヌマタネズミイルカのように、ひとつの化石が何十年にもわたって研究されたり、発見時に正体のわからなかった標本が時間を経て後の研究につながるのも、収蔵庫で資料がきちんと保管されて次世代に受け継がれているからです。

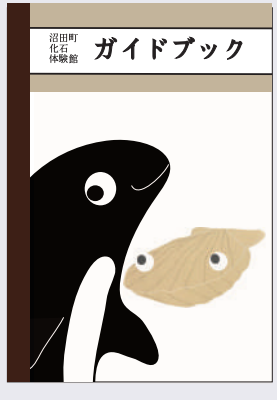
つまり、収蔵庫は時間の蓄積で成り立つ、いわば「時間を保存する」施設であるといえます。博物館には収蔵庫が必要不可欠であり、収蔵庫の整備が大きな社会貢献につながると考えられます。

ガイドブックを無料公開

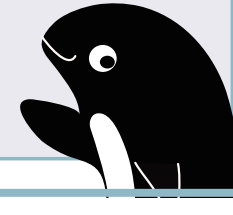
化石体験館の冬季休館にあわせ、『沼田町化石体験館ガイドブック』を本日より化石体験館公式ホームページにて無料で公開いたします。今回公開する第３版では、第１版、２版配布時にいただいたご意見をもとに、文字を大きくしたり写真を増やすなどの工夫をし、小さい子どもでも読み進めやすいよう改良しています。また、古第三紀（アミノドンや石炭の時代）の化石の紹介も追加しており、沼田で見つかった化石をより包括的、かつ連続的に知ることができるようになっています。

これまでは、化石体験館に来館しないと読むことができませんでしたが、インターネットで無料で公開することで、より多くの方が手軽にアクセスしやすくなります。休館期間だったり、遠方にお住まいでなかなか来館できない方でも沼田の化石の魅力を知ることができるようになります。

化石体験館のホームページでは、デジタルで見やすい表示版と、両面印刷後に中綴じのできる印刷版を公開しています。自由研究で化石について調べたり、図鑑を見るのが好きな人にとって大変な優れモノです。この機会に、見やすくなったガイトブックをぜひご活用ください。



◀ ガイドブック QR コード
過去の展示リーフレットも
公開しています。



北海道恐竜・化石ネットワーク研究会に参加しました

12 月 21 日に、第２回北海道恐竜・化石ネットワーク研究会が開催されました。そのなかで、沼田町化石館がヌマタネズミイルカの産状レプリカを展示した 10 月のイベント（化石館だより 10 月号「ヌマタネズミイルカ出張しました」で紹介しています）の報告があり、２日間で約１万人の方々が来場したことが公表されました。沼田町の外で、化石体験館の年間来館者数よりも多い１万人もの方々にヌマタネズミイルカを知ってもらえたのは大きな収穫であったといえます。

今後もネットワーク事業への参加をとおして沼田の化石をひとりでも多くの人に知ってもらえるよう活動していきます。

北海道恐竜・化石ネットワーク研究会に参加しました

11 月 18 日（金）に、BS よしもと「チーキーズ a Go Go !」の「となりマッチ」コーナー内にて、ヌマタネズミイルカの PR をおこないました。ヌマタネズミイルカの保存状態の良好さや道の天然記念物に登録されていること、そして今年制作した新しい復元骨格についてプレゼンテーションを行いました。実際の動画は Youtube で公開中です。是非ご覧ください。

URL：https://www.youtube.com/watch?v=ye1/02Fhbu

沼田町化石館だより　2022 年 12 月 22 日発行
発行 / 沼田町化石館　　編集 / 長野あかね
〒078-2202　北海道雨竜郡沼田町南1条4丁目
電話 /FAX　0164-35-2132/0164-35-1210
メールアドレス　kyoiku@town.numata.lg.jp（教育委員会）
ホームページ　http://numata-kaseki.sakura.ne.jp

（体験館 HP）　（公式 Facebook）

今年もありがとうございました！来年もよろしくお願いします。